

報道各位

SEA JAPAN 2022 展示会への参加結果について

一般社団法人 日本船用工業会

当工業会は、日本財団の助成を受け、国土交通省及び海事関係団体により構成した「SEA JAPAN 2022 海事クラスター企画委員会」の協力の下、4月20日～22日の間、東京ビッグサイトで4年ぶりに開催された本展示会においてジャパンパビリオンを形成し、展示及び関連イベントを実施した。

ジャパンパビリオンのテーマゾーンでは、我が国海事業界から51社・機関が参加し、「地球と海に優しい技術ー持続可能なGX・DX社会へー」をメインテーマに掲げ、「ゼロエミッション」、「海洋開発・洋上風力利用」、「DX・自動運航」、「海運」、「造船」、「艦艇」、「内航・フェリー」などのテーマごとに展示コーナーを設けて、我が国海事産業の最新の技術や製品等を紹介した。

同メンバーズゾーンでは、当会会員企業64社が参加し、世界各地で開催される国際海事展を通じて一貫したブランドイメージを構築するために当会が策定した「ジャパンパビリオン基本デザイン」をSEA JAPANとして初披露し各社ブースを設置したところ、出展企業や来場者から、「流行の和モダンのデザインで、新しいジャパンパビリオンの息吹きを感じる。」といった高評価が寄せられた。

両ゾーンの出展者からは、「いまだコロナ禍にある中、4年振りとなる本展示会で不安もあったが、蓋を開けてみれば前回とほぼ変わらない来場者があり、手応えを感じた。」等の喜びの声が多く聞かれた。

また、当会がかねてより船用工業説明会等を開催している大学の学生向けに実施した「船用業界学生イベント」には、全国8大学54名の学生及び教員が参加した。業界関係者による講演会に加え、学生に多くの会員企業ブースを回ってもらうため、初めてスタンプラリーを実施したところ、多くの学生が積極的に展示会場を見学する姿が見られ、「船用工業の面白さを体感できる良い機会になった。」等の声が聞かれた。

展示会最終日には、国土交通省及び（一財）日本海事協会と当会の共催で「船舶海洋技術セミナー」を実施した。「脱炭素化社会に向けた海運・造船・船用業界のチャレンジ」をテーマに、今回初出の講演が多くあったことから、事前登録の段階で定員を上回る聴講希望者があり、開場前には長蛇の列ができるなど、午前・午後を通じて延べ473名の聴講者があり盛況であった。

セミナー聴講者からは、「政府、船社、造船所、船級、船用メーカーなど海事クラスターの最新の取り組みを網羅した有意義なセミナーであった。」等の声が挙げられた。

同じく展示会最終日には、海上保安庁の協力を得て、最新鋭の大型測量船「平洋」の一般公開を実施。天候にも恵まれ、日本の技術の粋を集めた船舶の乗船体験ができる機会とあって、438名と想定を上回る多くの参加者があった。

前日には学生向けの見学会を開催し、海上保安庁の業務に興味を持った学生もいるなど、関係者以外が余り触れる機会がない同庁PRの場としても貴重な機会となった。

<SEA JAPAN 2022 展示会の概要>

会 期：令和4年4月20日（水）～22日（金）10:00～17:00
会 場：東京ビッグサイト 東ホール5・6
出展社数：342社
来場者数：17,444名（主催者発表）

<テーマゾーンの概要>（日本財団助成事業）

内 容：我が国海事クラスターの有する技術力を内外に発信するため、国交省、関連団体、大学、海運会社等で構成する「SEA JAPAN 2022 海事クラスター企画委員会」（座長：松本国土交通省海事局船舶産業課舟艇室長）にて検討の上、我が国で研究・開発した製品・技術等について、メインテーマの下で下記のテーマにカテゴライズし、総合的な展示を実施

メインテーマ：地球と海に優しい技術 -持続可能なGX・DX社会へ-

カテゴリ：①総合展示、②海運、③造船、④船級、⑤艦艇、⑥内航・フェリー、⑦ゼロエミッション、⑧海洋開発・洋上風力利用、⑨DX・自動運航、⑩研究テーマ

展示面積：798 m²

出展社数：51社・機関

出 展 者：日本財団、国土交通省、防衛省海上幕僚監部、防衛装備庁、海上保安庁、東京大学、横浜国立大学、(国研)海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所、(国研)海洋研究開発機構、(独法)鉄道建設・運輸施設整備支援機構、日本郵船(株)、(株)商船三井、川崎汽船(株)、川崎重工業(株)、三菱造船(株)、ジャパンマリンユナイテッド(株)、三井E&S造船(株)、(株)新来島サノヤス造船、(株)名村造船所、宮崎カーフェリー(株)、(株)名門大洋フェリー、阪九フェリー(株)、(株)フェリーさんふらわあ、東京九州フェリー(株)、新日本海フェリー(株)、商船三井フェリー(株)、オーシャントランス(株)、太平洋フェリー(株)、(株)INPEX、JX石油開発(株)、IHI原動機(株)、(株)赤阪鐵工所、(株)オートマイズ・ラボ、かもめプロペラ(株)、ダイキンMRエンジニアリング(株)、ダイハツディーゼル(株)、タマヤ計測システム(株)、ナブテスコ(株)、阪神内燃機工業(株)、BEMAC(株)、ボルカノ(株)、眞鍋造機(株)、ヤンマーパワーテクノロジー(株)、郵船商事(株)、(一財)日本海事協会、(一財)日本船舶技術研究協会、(一財)日本造船技術センター、(一財)次世代環境船舶開発センター、(一社)日本造船工業会、(一社)日本中小型造船工業会、(一社)日本船用工業会

<イベントの概要> (日本財団助成事業)

1. 船舶海洋技術セミナー

日 時：令和4年4月22日(金) 10:30~15:15

場 所：SEA JAPAN 会場内セミナールーム

主 催：国土交通省、(一財)日本海事協会、(一社)日本船用工業会

テ ー マ：脱炭素化社会に向けた海運・造船・船用業界のチャレンジ

参加者数：午前の部 213名、午後の部 260名

内 容：

午前の部：10:30~11:55	
10:30~10:35 (5分)	開会挨拶 国土交通省 大臣官房技術審議官/河野 順氏
10:35~10:55 (20分)	国際海運 2050年カーボンニュートラルに向けた国の取り組みについて 国土交通省 海事局 海洋・環境政策課長/田村 顕洋氏
10:55~11:10 (15分)	アンモニア Ready LNG 燃料船の開発 日本郵船(株) 工務グループグループ長/山本 泰氏
11:10~11:25 (15分)	商船三井グループ 環境ビジョン 2.1 について (株)商船三井 環境・サステナビリティ戦略部 環境戦略チームチームリーダー/青木 大輔氏
11:25~11:40 (15分)	自動カイトシステム「Seawing(風力推進)」の導入 川崎汽船(株) 先進技術グループ先進技術開発チーム長/山崎 伸也氏
11:40~11:55 (15分)	海運の 2050 ネットゼロに向けた GSC の取組み (一財)次世代環境船舶開発センター 上席研究員 計画設計グループリーダー/平松 彩氏
午後の部：13:00~15:15	
13:00~13:15 (15分)	次世代エネルギー 水素を運ぶ -液化水素運搬船の開発- 川崎重工業(株) エネルギーソリューション&マリンカンパニー船舶海洋ディビジョン技術 総括部液化水素運搬船開発部企画管理課/冨永 晴彦氏
13:15~13:30 (15分)	CO2 バリューチェーンと LC02 船による脱炭素化にむけた取組 三菱造船(株) 事業戦略推進室海洋脱炭素グループグループ長/田中太一氏
13:30~13:45 (15分)	浮体式洋上風力発電用セミサブ型浮体及び洋上風力関連作業船の紹介 ジャパンマリンユナイテッド(株) 海洋エンジニアリングプロジェクト部洋上風力開発グループ長/吉本 治樹氏
13:45~14:00 (15分)	GHG 削減技術に関するエンジニアリングの紹介 三井 E&S 造船(株) 執行役員設計部長/永所 和俊氏
14:00~14:15 (15分)	アンモニア燃焼エンジンの紹介 (株)IHI 原動機 取締役/高橋 伸輔氏
14:15~14:30 (15分)	GHG 低減技術の取組状況 ダイハツディーゼル(株) 技術企画戦略室室長/花本 健一氏

	<p>(株)三井 E&S マシナリー R&D センター脱炭素推進システム Gr 長／宮地 健氏</p>
<p>14 : 30～14 : 45 (15 分)</p>	<p>舶用水素エンジンの共同開発 ～日本の水素技術を世界の海へ～ 川崎重工業(株) エネルギーソリューション&マリンカンパニーレシプロエンジン開発室室長／東田 正憲氏 ヤンマーパワーテクノロジー(株) 特機事業部開発部先行技術部部長／濱岡 俊次氏 (株)ジャパンエンジンコーポレーション 開発部部長兼水素燃料エンジン開発推進室室長／江戸 浩二氏</p>
<p>14 : 45～15 : 00 (15 分)</p>	<p>GHG 削減に関する日立造船の触媒技術の紹介 日立造船(株) 脱炭素化事業本部舶用機器・脱硝ビジネスユニットカーボンニュートラル 触媒事業推進室室長／日数谷 進氏</p>
<p>15 : 00～15 : 15 (15 分)</p>	<p>ゼロエミッション船舶の開発に向けた安全基準・評価に関わる ClassNK の取組み (一財) 日本海事協会 技術本部技術部次長／西藤 浩一氏</p>

2. 船用業界学生イベント

日 時：令和4年4月21日（木）～4月22日（金）

場 所：東京ビッグサイト各所

主 催：（一社）日本船用工業会

参加大学：東京海洋大学、東海大学、大阪公立大学、同志社大学、神戸大学、
鳥取大学、高知大学、長崎総合科学大学

参加者数：54名（うち引率教員5名）

内 容：

<4月21日（木）>

時間	実施概要
12:30-12:50	学生集合
13:00-13:15	オリエンテーション
13:15-13:20	開会挨拶
13:20-14:45	我が国海事産業・船用工業の展望に関する講演 <ul style="list-style-type: none"> ・大手船社による講演 「日本の海事産業の構造と、将来に向けた当社の取組み」 講演者：(株)商船三井 技術革新本部 技術部長 杉本 義彦氏 ・会員企業の経営層による講演 「なぜ、いま船のDXが熱いのか！」 講演者：JRCS(株) 代表取締役社長 近藤 高一郎氏 ・会員企業の若手・中堅層による講演 「船用ディーゼル機関機装設計業務のご紹介」 講演者：ダイハツディーゼル(株) 技術第二部機装第二グループ 杉本 竜大氏 「安全運航を支える国境なきサービスプロバイダー」 講演者：富士貿易(株) サプライネットワーク事業部 マネージャー 大原 俊幸氏
14:45-16:00	SEAJAPAN会場見学(スタンプラリーを実施)
16:00-17:30	海上保安庁 測量船の見学

<4月22日（金）>

時間	実施概要
10:00-12:00	SEAJAPAN会場見学(スタンプラリーを実施)
12:00-12:50	修了式（スタンプラリー抽選）解散
12:50-17:00	SEAJAPAN会場見学

3. 船舶の一般公開

日 時：4月22日（金）10:00～16:00

場 所：東京港有明西埠頭（東京ビッグサイト隣接の岸壁）

協 力：海上保安庁

内 容：測量船「平洋」の見学

参加者数：438名

<メンバーズゾーンの概要> (自主事業)

展示面積：1,503 m²

出展者数：64 社

出展者：(株)IHI 原動機、(株)相浦機械、伊吹工業(株)、潮冷熱(株)、(株)ウッズ、(株)宇津木計器、(株)エヌワイ、(株)オーケーエム、ガイスリンガー(株)、神奈川機器工業(株)、かもめプロペラ(株)、川崎重工業(株)、極洋電機(株)、(株)高工社、(株)小坂研究所、(株)神戸機材、(株)サクシオン瓦斯機関製作所、(株)ササクラ、(株)サタケ、(株)サンフレム、JRCS(株)、JFE エンジニアリング(株)、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、島田燈器工業(株)、(株)湘南工作所、(株)湘洋エンジニアリング、(株)シンコー、(株)関ヶ原製作所、大晃機械工業(株)、大洋電機(株)、ダイキンMRエンジニアリング(株)、ダイハツディーゼル(株)、(株)鷹取製作所、(株)田邊空気機械製作所、中国塗料(株)、中日輪船商事(株)、(株)帝国機械製作所、寺崎電気産業(株)、東京計器(株)、東京日進ジャバラ(株)、ナカシマプロペラ(株)、(株)浪速ポンプ製作所、ナブテスコ(株)、西芝電機(株)、(一財)日本気象協会、日本船用エレクトロニクス(株)、日本無線(株)、(株)日阪製作所、(株)日立ニコトランスミッション、BEMAC(株)、富士電機(株)、富士貿易(株)、眞鍋造機(株)、(株)ミズノマリン、三菱化工機(株)、三菱重工マリンマシナリ(株)、ムサシノ機器(株)、(株)村山電機製作所、山科精器(株)、(株)ヤマトメタル、ヤンマーパワーテクノロジー(株)、郵船商事(株)、横河電機(株)、(株)YDK テクノロジーズ

以 上

【オープニングセレモニー】



渡辺猛之国土交通副大臣の開会挨拶



テープカット

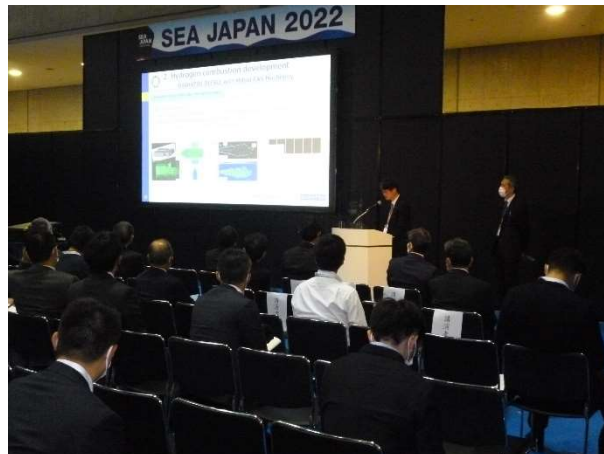
【渡辺国土交通副大臣ご視察】



【テーマゾーン】



【船舶海洋技術セミナー】



【学生イベント】



【「平洋」の一般公開】



以上